CASE.27

清掃・メンテナンス

有限会社三機システム工業

http://info@sankisystem.jp

メンテナンスの作業品質が向上し、新規事業も拡大

社屋外観

■事 業 内 容：清掃・メンテナンス業
■代　表　者：代表取締役社長　井上 利明 氏
■本社所在地：神奈川県藤沢市川名2-5-31
■創　立　年：1992年
■従 業 員 数：25名
■認証レベル：エコステージ1（2005年9月取得）

主な環境活動項目

（1）安定したサービスの提供と施工不良・クレームゼロ
（2）環境負荷低減と安全・衛生の徹底
（3）廃棄物・廃材などの分別徹底による資源の無駄排除
（4）カーボンオフセットによる社会貢献

背景・課題

環境保全を柱に事業を展開、負担の少ないEMSを選択

三機システム工業様は、レストラン・社員食堂・ホテルをはじめとした各種店舗やオフィス内の厨房・空調・排気・防火設備などの施工・清掃・保守を主に展開している会社です。同社では、もともと環境保全・改善ビジネスを柱に事業を拡大してきたため、自社内における環境問題への対応は最重要課題でした。しかし、ISO14001の導入は負担が重過ぎることがわかり、その他の認証制度を比較検討。エコステージなら全ての負担が少なく、同社のような中小規模の企業でも取り組やすいと判断し、エコステージ1を導入しました。

活動内容

メンテナンスの本質を追究し、清掃作業も徹底的に改善

必要な設備を修理・補強可能なものは維持管理させるというメンテナンスの本質の追究とともに、お客様の要望に沿った改修案を提案。以下の活動を展開しています。

① 安定したサービスの提供と施工不良・クレームゼロを徹底する。
② 清掃作業では、従来よりも時間が余分にかかっても清掃用薬剤をより環境影響の少ないものに変更する。
③ 廃棄物の削減、廃材・廃棄物の分別の徹底などを実施し、お客様先での環境配慮の活動を行う。
④社会貢献活動を継続する。

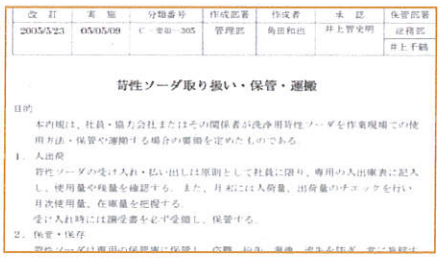
効果

高い信頼性で新規受注が拡大、社会貢献の意識も社員に浸透

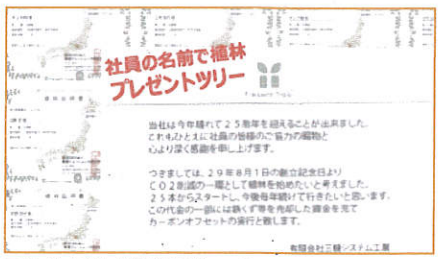
環境目標をほぼ達成。「改善提案」は全社員月1件の提案を目標として実施。企業活動のインフラとして未整備だった、各種業務・服務規定なども同時に策定。業務・作業品質はもとより、企業としての信頼性が拡大し、新規受注が拡大しました。

特に顕著な成果として以下が挙げられます。
①エコステージ協会東京地区事例発表会(2008年)での講演。
②毎年1回の「安全衛生大会」の開催(協力会社も含めたEQCDS大会)。
③創立25周年(2018年)を機に社員人数分の植林活動(プレゼントツリー)を毎年実施。

■環境勉強会


苛性ソーダ取り扱い・保管・運搬

■清掃用薬剤の管理を徹底



■プレゼントツリー（植林証明書）

今後の計画

同社社長が語るモットーは「お客様、協力企業様をも巻き込み、環境循環型社会の実現に少しでも役に立ち、『環境にやさしい会社』を目ざしたい」。そのためにも、防火・防災を中心とした設備のIoTの活用なども研究し、各業務にまたがる「ワンストップサービス」の実現を目指しています。

担当評価員からのメッセージ

同社は、環境保全・改善活動は当たり前と考え、地域社会や地球環境の保全に大変意識の高い企業です。植林コスト(プレゼントツリー代金)は、産業廃棄物のリサイクル化(金属クズ)の売却金を活用し、不足分を会社の利益から補填。また、業務用設備点検整備だけでなく、藤沢市の特定窓口として消火器リサイクル業務を担い、地域・社会に貢献しています。